

高砂神社秋祭り

毎年10月10日・11日に開催される2日間のお祭りで、8台の屋台を中心に賑やかなお囃子行列が繰り広げられます。初日は高砂神社から神輿が高砂の各通りを練り歩きます。

各地区の氏子が屋台やだんじり、曳き物を持って神輿の後ろを練り歩きます。お旅所では、町民の幸福や無病息災を祈るなどの儀式が執り行われます。

また、神輿を船に寄せ、加古川に流す神幸行列「船渡御」もあります。船渡御は3年に一度行われ、海上交通の要所として発展・繁栄した高砂の歴史を後世に伝えています。

祭りの2日目には、各町内の屋台が様々なイベントに参加し、協調と競争の精神で競い合います。

2日目のハイライトは、担ぎ手が屋台を練りあいそれを見ていると信じられている神々に相対的な強さを誇示する競技です。